

令和2年度舞鶴市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和2年度舞鶴市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)	給 水 戸 数	32,100戸
(2)	年 間 総 給 水 量	10,769,000㎡
(3)	1 日 平 均 給 水 量	29,500㎡
(4)	主要な建設改良事業	
	浄水施設費	115,145千円
	配水施設費	904,480千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収 入	
第1款	水道事業収益	2,119,000千円
第1項	営業収益	1,770,031千円
第2項	営業外収益	348,967千円
第3項	特別利益	2千円
	支 出	
第1款	水道事業費用	1,924,500千円
第1項	営業費用	1,800,265千円
第2項	営業外費用	119,614千円
第3項	特別損失	4,121千円
第4項	予備費	500千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,023,800千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額75,808千円、建設改良積立金246,096千円、損益勘定留保資金701,896千円で補てんするものとする。)

	収 入	
第1款	資本的収入	565,400千円
第1項	企業債	350,000千円
第2項	補助金	58,273千円
第3項	出資金	116,540千円
第4項	負担金	17,361千円
第5項	基金収入	23,225千円
第6項	固定資産売却代金	1千円

支 出

第1款 資本的支出	1,589,200千円
第1項 建設改良費	1,023,268千円
第2項 償還金	465,932千円
第3項 積立金	100,000千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
配水施設更新事業	自 令和2年度 至 令和4年度	千円 292,000

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法
建設改良費	千円 350,000	証書借入又は証券発行、ただし証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額100円につき99円以上とする。	5.0%以内 ただし、利率見直し方式による借り入れについて、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率	公的資金については、その融通条件により、民間等資金の場合には、その債権者と協定するものとする。ただし企業財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は低利に借換することができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、700,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 営業費用と営業外費用との間
- (2) 建設改良費と償還金との間

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 291,203千円

(他会計からの補助金)

第10条 水道事業の財源に充当するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、8,461千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、20,000千円と定める。

令和2年2月25日 提出

舞鶴市長 多々見 良三

